

宇陀市次世代育成支援後期行動計画

～平成22年度進捗状況報告～



「子どもが地域に見守られ
安心して未来に羽ばたけるまち 宇陀」

平成23年3月
宇陀市健康福祉部福祉課

平成22年度進捗状況報告

～宇陀市次世代育成支援後期行動計画～

● 行動計画と進捗状況の確認・評価

「宇陀市次世代育成支援後期行動計画」は、次代を担う子どもと子育て家庭の支援を総合的・計画的に推進することを目的に策定されました。

平成22年3月に策定されたこの計画は「次世代育成支援対策推進法」第8条に基づく行動計画であり、この計画を実効性のあるものとして進めるためには、その進捗状況をしっかりと管理（確認・評価）する必要があります。

● 進捗状況の公表

計画の実施にあつては、行政のみならず家庭や地域、保育所、幼稚園、学校、企業等が一体となり、次世代育成支援対策に関する取り組みを推進することが不可欠であるため、計画に基づく措置の進捗状況等に係る情報を、毎年公表していきます。

①平成22年度主要事業進捗状況報告

進捗状況	事業件数	割 合	該 当 事 業
完 了	一 件	— %	
着手・推進	80 件	97.6 %	・効率的な母子保健の充実 他 79 事業
一部着手	1 件	1.2 %	・生活安全推進協議会による 地域の安全対策の推進
未着手	1 件	1.2 %	・ジュニアリーダー養成
	82 件	100.0 %	

②平成22年度特定事業の進捗状況報告

		平成22年度 実績	平成26年度 目標	26年度目標に対する進 捗割合(22年度実績)
平日昼間の保育サービス				
3歳未満児	認可保育所(園) (人)	138	180	76.67%
	保育5サービス (人)	138	180	76.67%
	うち 家庭的保育事業 (人)	未実施	検討	ニーズに合わせて検討
3歳以上児	認可保育所(園) (人)	185	316	58.54%
	保育5サービス (人)	185	316	58.54%
	保育6サービス うち 認可保育所+家庭的保育 +幼稚園の預かり保育 (人)	594	436	136.24%
全体	特定保育事業 (人) (か所)	—	—	ニーズに合わせて検討
		未実施	検討	
夜間帯の保育サービス				
延長保育事業	(人)	7	6	116.67%
	(か所)	2	2	
夜間保育事業	(人)	—	—	ニーズに合わせて検討
	(か所)	未実施	検討	
トワイライトステイ事業	(人)	0	8	—
	(か所)	0	1	
休日保育事業	(人)	—	—	ニーズに合わせて検討
	(か所)	未実施	検討	
病児・病後児保育事業	(日数)	—	—	ニーズに合わせて検討
	(か所)	未実施	検討	
うち 体調不良児対応型	(日数)	—	—	ニーズに合わせて検討
	(か所)	未実施	未実施	
うち 病児対応児・病後児対応型	(日数)	—	—	ニーズに合わせて検討
	(か所)	未実施	検討	
一時預かり事業	(日数)	1001	1591	62.92%
	(か所)	5	5	
ショートステイ事業	(か所)	0	1	—
放課後児童健全育成事業	(人)	226	165	136.97%
	(か所)	7	5	
地域子育て支援拠点事業	(か所)	3	3	100.00%
ファミリー・サポート・センター事業	(か所)	0	1	平成22年度は、子育てサポートクラブとして実施

宇陀市次世代育成支援後期行動計画～平成22年度進捗状況報告

政策目標	推進項目	事業名称	平成22年度の実績・評価	進捗状況
子どもが心身ともに健やかに成長するための支援 ①	子どもと母親の健康の確保	1 効率的な母子保健事業の充実 (健康増進課)	健康増進課を中心に各保健センターが連携し、効率よく事業実施ができるよう検討する。 子育て支援・虐待予防の視点も併せ事業を実施し、必要により関係機関と連携する。 健康うだ21計画 妊産婦・乳幼児・思春期保健の推進。	着手推進
		2 健康づくり推進事業(健康増進課・保健センター)	健康うだ21計画の妊産婦・乳幼児の取り組みについて周知。	着手推進
		3 母子健康手帳の交付と妊婦指導 妊婦一般健康診査受診票交付 (健康増進課・保健センター)	妊娠届出件数:181件 妊娠12週以降の妊娠届出件数:18件(9.9%) 妊婦健康診査補助券綴り等交付件数:196件	着手推進
		4 母親教室 妊婦への個別の保健指導 (健康増進課・保健センター)	・たまごクラス(母親教室) 3クール(1クール3回)実施 参加人数 実24人 延48人 たまひよサロン (妊婦と乳児・保護者の交流) 参加人数 7人 ・個別の保健指導 面接・訪問数 15人	着手推進
		5 乳児(新生児)、産婦訪問指導 (保健センター)	助産師会への委託事業として実施 乳児164人 産婦162人 全出生を対象に実施しているが、市外在住・入院・第2子以降の出生などにより対象者中9名は未実施。	着手推進
		6 乳幼児訪問指導 (保健センター)	主に健診未受診児及び健診後の要経過観察児を対象に実施。 訪問実施件数:44件 状況把握のための訪問の連絡をするが、所内面接により相談・指導を希望するケースが多い。 所内での面接相談数 180件	着手推進
		7 育児教室 (保健センター)	ひよこクラス(育児教室) 4クール(1クール4回)実施 参加人数 実44人 延143人 平成22年度はそれまでの1クール3回から4回に回数を増加し、なかまづくりのきっかけの場として、また、妊婦との交流の場「たまひよサロン」も実施。	着手推進
		8 乳幼児健康診査 (保健センター)	※別紙	着手推進
		9 カンガルー教室 (保健センター)	平成22年5月～平成23年2月まで、月1回 年間10回実施 参加人数 実23人 延106人 継続支援が必要なケースについては、療育教室へ移行。	着手推進
		10 予防接種(保健センター)	※別紙	着手推進
		11 宇陀市立病院小児科の設置 (市立病院)	宇陀市立病院には、小児科を設置して外来診療を行っていますが、常勤の小児科医師が配属されていない現状にあります。	着手推進
		12 小児・妊産婦医療情報の提供及び救急医療、情報の提供 (健康増進課・保健センター)	乳児(新生児)・産婦訪問指導時、救急時の診療体制・電話相談窓口に関するリーフレットや救急時の対応についてのパンフレットを説明し、配布。 ひよこクラス時、救急時の対応について説明。	着手推進
②	食育の推進	13 食生活改善推進員活動 (保健センター)	健康うだ21計画 食生活の推進の一環として、子どもの頃から野菜を毎食食べてバランス良い食生活を身につけることを目的に、小学校・幼稚園・保育所(園)の園児・児童・保護者を対象に調理実習・講話を実施。 室生中学校1年生:調理実習2回実施 榛原東小学校保護者: 調理実習1回実施 榛原小学校1・2年生:講話各1回実施 菟田野小学校4～6年生・保護者:調理実習1回実施 室生保育所年長児:調理実習1回実施 子育て支援事業参加の親子:調理実習1回実施	着手推進

別紙

8 乳幼児健康診査 市内2か所で実施

		健診回数	対象者数	受診者数	受診率 (%)	未受診者	未受診者中、未把握者数
乳 児 健 診	4~5か月児 健診	12	164	153	93. 3	11	0
	10~11か月児 健診	12	184	179	97. 3	5	1
1歳6か月児健診		7	208	192	92. 3	14	2
3歳児健診		9	219	198	90. 4	21	0
2歳児歯科健診		6	210	180	85. 7	30	6

健診未受診者への対応は、次回の健診案内・面接・訪問・電話連絡・予防接種時に面接・幼稚園・保育所連絡を実施。未受診者の中には転出や長期入院・海外在住者もあり。法律に基づく1歳6か月児健診と3歳児健診での未把握者は2名（居住実態がないケース1名、海外在住のケース1名）。

10 予防接種

種別	接種者数 (延べ人数)	接種方式
ポリオ	365	室生福祉保健交流センター、大宇陀保健センターで実施
BCG	167	
三種混合	682	
MR1期	171	市内医療機関で接種
MR2期	165	
MR3期	282	市内各中学校、市内医療機関で実施
MR4期	225	市内医療機関で実施
日本脳炎	637	室生福祉保健交流センター、大宇陀保健センターで実施
		市内医療機関で実施
ジフテリア・破傷風	264	市内各小学校で実施

宇陀市次世代育成支援後期行動計画～平成22年度進捗状況報告

政策目標	推進項目	事業名称	平成22年度の実績・評価	進捗状況
子どもが心身ともに健やかに成長するための支援 1	② 食育の推進	14 食育の推進 (学校教育課・保育所(園)・幼稚園・小・中学校給食センター・保健センター)	<ul style="list-style-type: none"> 各年齢に応じた「食育年間計画」に基づき取り組みを進める事ができた。 試食会を開催する事により、保育所(園)での給食を知ると共に、家庭での食事の参考(量及び味付け)になつたり、食の大切さを理解して貰う機会となる。 各保育所(園)で菜園活動が活発に行われており、体験する事で野菜等の旬を知ることが出来た。 収穫した野菜等は給食やおやつの食材として利用する事で好き嫌いをなくす事にも一役担っている。 健康うだ21計画の推進の一環として、子どもの頃から野菜を毎食食べてバランス良い食生活を身につけることを目的に、季節毎の野菜レシピを作成。 市内各小・中学校、園(所)を通じ配布。 	着手推進
	③ 次代の親の育成支援	15 異年齢交流・職業体験 (保育所(園)、幼稚園、小・中学校、高校、保健センター)	<ul style="list-style-type: none"> 中学2年生の職場体験学習の実施。市内の様々な職場での体験をとおし、自己の生き方に意識を深めた。その中で、保育所(園)・幼稚園や小学校にも体験に行き、異年齢交流を実施した。 榛生昇陽高校の福祉科の生徒による中学校出前授業を行い、特に介護福祉の分野での体験含む学習に取り組んだ。 中学1年生キャリア教育の一環として、様々な分野から講師を招き、学習会を開催したり、職場訪問をしたりし、将来の就労感を育てた。 	着手推進
	④ 就学前教育の充実	16 園庭開放 (保育所(園)、幼稚園)	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園においては、園により実施についてばらつきがある。保育所(園)や小学校と共同で使用していたり、バス通園等の事情により、開放が難しい園がある。しかし、指定日を設けて開放している。 幼稚園で単独園庭を持っている園については、園児が降園した後、ほぼ毎日開放している。スポーツ教室の利用もある。 保育所においても、子育て支援の一環として、指定日を設けて開放している。 	着手推進
		17 保育所(園)、幼稚園と小・中学校の連携 (保育所(園)、幼稚園、小・中学校)	<ul style="list-style-type: none"> 小学校6年生による中学校体験入学の実施、保育所(園)・幼稚園5歳児による小学校体験入学の実施。 年間を通じ幼児が小学校へ、小学生が中学校へ、それぞれの行事に参加し交流を図った。 家庭科の授業で保育所(園)実習を実施。 小学校と中学校で、保育所(園)・幼稚園でそれぞれ教職員が連絡会を持ち交流を図った。 中学校教員による、小学校出前授業などを実施。 	着手推進
		18 乳幼児教育の振興活動 (保育所(園)、幼稚園)	<ul style="list-style-type: none"> 幼保一体化以外の幼稚園では、22年度より全園未就園児の交流会を実施した。(各園年6回以上) 未就園児交流会を実施することにより、保護者と幼児が幼稚園入園の準備を進めることができた。 幼保一体化の園においては、保育所児と幼稚園児が交流し、共に育ち合っている。 地域のボランティアと連携をし、交流を深めた。 	着手推進
	⑤ 信頼づさくれりる学	19 世代間交流事業 (保育所(園)、幼稚園)	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者とは保育所(園)の近くの地域(2自治会)に協力を仰いで年2回近くの公園で交流したり、所(園)に招待し共に遊んだりした。幼稚園児・小学生・中学生・高校生との交流を頻繁に行なった。 ボランティアの方による読み聞かせを毎月一回していただく。 祖父母参観の実施や世代間交流で地域の老人会の方々と交流。 	着手推進
		20 総合学習(小・中学校)	<ul style="list-style-type: none"> 小学校(3年から)・中学校において総合的な学習の時間を中心に学習活動を展開。 横断的・総合的な学習や児童・生徒の興味・関心等に基づく学習など創意工夫を生かした教育活動に取り組んだ。 地域のことを調べたり、体験学習に取り組むなど各学級や各学年で年間計画に沿って学習している。 	着手推進

宇陀市次世代育成支援後期行動計画～平成22年度進捗状況報告

政策目標	推進項目	事業名称	平成22年度の実績・評価	進捗状況
1 子どもが心身ともに健やかに成長するための支援	⑤ 信頼される学校づくり	21 道徳教育(小・中学校)	・道徳の全体計画・年間指導計画に基づいて各学年で実施。 ・道徳教育推進教員を中心として移行期最終年度である本年度、指導の内容や時期を全体計画に示した。 ・各教科との関連を明らかにして道徳教育の展開をするようにした。 ・心のノートの活用や教材を工夫し、授業の創意工夫をした。 ・県教委学校教育課指定「見直そう！家庭と学校協働プロジェクト」モデル校としての取組や自主公開研究発表会(道徳教育)を開催	着手推進
		22 部活動の支援(中学校)	・部活動の支援として、地域スポーツ人材を活用した運動部活動等推進事業(バスケットボール)により、年間20回、指導者を派遣していただいた。 ・よりよい人間関係を築こうとする自主的・実践的な態度の育成をめざし活動を実施した。 ・卒業生による部活動支援	着手推進
		23 小学校、中学校の整備(学校教育課)	大宇陀小学校統合再編事業により、平成22年4月1日に大宇陀小学校は3校が統合した。 また、当該小学校は平成25年4月に再統合に向け、校舎及び体育館の新築に向け設計業務と開発・建築確認申請業務を実施した。	着手推進
		24 学校評議員制度の活用(幼稚園、小・中学校)	・すべての学校・園で年間3回以上の学校評議委員会を開催。 ・入学式、育友会総会、運動会、日曜参観、学習発表会、卒業式等に招待し、その都度意見を伺う。 ・学校教育への助言、地域の状況、保護者・地域の学校への要望等について協議。 ・学校評価についての協議。	着手推進
		25 宇陀市大宇陀小学校再編(教育総務課、学校教育課)	大宇陀内の4小学校については、「大宇陀小学校再編計画」に基づき、平成22年4月1日に、まず大宇陀地域内の3小学校(旧大宇陀小学校、旧守道小学校、旧田原小学校)を再編統合し、(新)大宇陀小学校を設立した。これにより、各学年において進級時に組み替えができる複数学級編成が可能となり、教育環境が改善した。	着手推進
		26 学校施設の開放(学校教育課、小・中学校)	義務教育施設の一般開放については既に行っている。 また、保育所(園)・幼稚園においても園庭開放日を設け、子育て支援家庭への開放を実施している。	着手推進
		27 適応指導教室「はばたき」(学校教育課)	相談件数 ・来所 3件 のべ5回 ・電話及びメール 4件 のべ16回	着手推進
	⑥ 障がいのある子どもへの支援	28 特別児童扶養手当(福祉課)	特別児童扶養手当の受給者 65人(平成23年3月31日現在)	着手推進
		29 障害児福祉手当(福祉課)	障害児福祉手当の実績 受給者数 19名(平成23年3月31日現在)	着手推進
		30 障害のある子どもに対する自立支援給付事業(福祉課)	自立支援給付事業 児童ディサービス 21年度5,026,588円、22年度(3月現在)7528,273円 補装具給付費 21年度 958,262円、22年度(3月現在)3,944,255円 昨年度よりも福祉サービスの認知度が上がっている。	着手推進
		31 障害児保育事業(保育所(園)・幼稚園)	平成22年度宇陀市教育研究指定園として、大宇陀幼稚園が、特別支援教育の実践発表会を実施した。 発表会により、職員の理解を深め、園内の体制づくりの強化に繋がった。 保育の質の向上のために、各種研修を行った。 今年度より宇陀市教育相談を始めた。各保育所(園)・幼稚園と連携し、保護者・幼児の支援に繋がっている。	着手推進
		32 心理発達相談事業(保健センター)	・相談者数:実14人 延17人 ・個別に発達状況を把握し、具体的な関わりについての相談を実施。	着手推進

宇陀市次世代育成支援後期行動計画～平成22年度進捗状況報告

政策目標	推進項目	事業名称	平成22年度の実績・評価	進捗状況
2 子ども安全確保	① 子どもの交通安全活動を確保するための	33 交通安全登校児童指導(総務課)	・春・秋の交通安全県民運動期間中に各地区の通学路において、児童・生徒の安全確保のために登下校指導を実施する。	着手推進
		34 交通安全教室 (総務課、保育所(園)、幼稚園、小・中学校)	・宇陀署交通安全課や県警の交通安全サポートセンターの方々による安全教育年間計画にある「交通安全教室」を実施。PTAの協力も得る。 ・自転車点検を自転車協会の協力により実施、安全な乗り方についての講習を行う。 ・小学校低学年児童に正しい踏切の渡り方や、安全な登下校について指導。 ・地域ボランティアの登下校における見回りや職員による校区の安全パトロールの実施。	着手推進
		35 乳幼児用補助装置貸与業務事業(福祉課)	ヘビーシート貸与数 44件 (平成23年3月31日現在)	着手推進
		36 交通対策協議会による地域の安全対策の推進 (総務課)	・「スピード落とせ」「とび出し注意」の啓発看板を購入し、危険箇所に設置をした。 ・春、秋の交通安全県民運動期間中幼児、児童、生徒への啓発・指導を行った。	着手推進
	② 子どもを犯罪等の被害から守るために活動の推進	37 「こども110番の家」旗の設置 (総務課・教育総務課)	市民の協力を得て、「子ども110番の家」旗を更新するとともに現状にあつた場所に設置する。 大宇陀地域 102旗 菟田野地域 70旗 榛原地域 265旗 室生地域 70旗	着手推進
		38 防犯ブザーの配布(学校教育課)	小学校 258個 126,000円 中学校 292個 146,000円	着手推進
		39 青色防犯パトロール(総務課、教育総務課)	・職員が県警主催の青色防犯パトロール講習を受講し、小学校下校時の時間帯にパトロールを実施した。 ・教育委員会、総務部、市民環境部、各地域事務所の職員が毎月10日前後に実施	着手推進
		40 生活安全推進協議会による地域の安全対策の推進 (総務課、危機管理課)	協議会設立に向けての調査検討中	一部着手
		41 防犯教室 (総務課、保育所(園)、幼稚園、小・中学校)	・宇陀署、県サポートセンター、セコムなどの協力の下、防犯教室を実施。 ・携帯電話に関する講習会を実施。 ・避難訓練(不審者対応)・護身術講習を実施。 ・教職員に対し、不審者対応の防犯教室の開催。	着手推進
	③ 青少年健全育成事業の推進	42 喫煙飲酒防止対策の推進 (中学校、保健センター)	・保健体育の授業で「喫煙と健康」「飲酒と健康」「喫煙・飲酒のきっかけ」などを指導。 ・健康うだ21計画思春期保険の推進 喫煙防止 中学生を対象に未成年者の喫煙防止標語を募集。 優秀標語を学校や地域の公民館等に掲示し、啓発。 中学生を対象に、喫煙防止のリーフレットを作成し、世界禁煙デーに併せ学校で配布。 飲酒防止 中学生の保護者を対象に未成年者の飲酒防止のリーフレットを作成し、二学期の三者懇談時に配布。	着手推進
		43 街頭啓発(生涯学習課)	・青少年健全育成街頭啓発(平成22年11月1日) 11月の全国青少年健全育成強調月間にあわせ、榛原駅等市内5箇所で標語入りティッシュの配布 ・立入り巡回啓発活動(平成22年11月9日) 奈良県と合同で市内コンビニ・書店・雑誌自動販売機等立入り啓発	着手推進
		44 啓発標語募集(生涯学習課)	・中高生を対象に標語を募集 平成22年度最優秀作品 「友達は 自分自身の 宝物」 「ありがとう 周りの支えに 日々感謝」	着手推進

宇陀市次世代育成支援後期行動計画～平成22年度進捗状況報告

政策目標	推進項目	事業名称	平成22年度の実績・評価	進捗状況
2 子ども安全確保	③ 青少年健全育成事業の推進	45 講演会の実施(生涯学習課)	・ふれあい講演会(平成22年11月21日) 「心元気に」勇気を出して一步を踏み出そう 新井深絵＆宮川真由美 トーク＆コンサート	着手推進
		46 絵本の読み聞かせ事業(図書館・児童館)	ブックスタート 計15回実施 4～5ヶ月児健診(大宇陀保健センター) 6回 BCG予防接種(榛原保健センター) 6回 母親教室(室生福祉保健交流センター) 3回	着手推進
3 子どもの人権の尊重と権利擁護の推進	① 人権教育の推進	47 小中学校での人権教育の推進 (学校教育課・小・中学校)	・文部科学省人権教育指定校としての講師を招いての研修、校内研究授業の実施。 ・学期に1回ずつ、人権集会・なかま集会を開催。 ・同年齢や異年齢のなままと協力しながら、地域の人々とのふれあいを通して、地域のよさに気づく「ふれあい学級」を実施。 ・学期ごとに「人権教育」の現職教育を確保。 ・教職員の資質向上に努め、実践力を養うための研修に参加する。	着手推進
		48 保育所(園)・幼稚園での人権教育 (学校教育課・保育所(園)・幼稚園)	・「人権教育年齢別年間計画」を立て、計画的に取り組んだ。 ・教職員と幼児の温かい人間関係を基盤にしながら、幼児同士のコミュニケーションの力を高めるようにした。 ・遊びを通して、心情、自主的、自発的な態度や意欲の育成に努めた。 ・教職員は幼児の生活に即した子育てを保護者と共に考え幼児を常に中心に据えたきめ細やかな保育を心がけ家庭との連携を深めた。 ・様々な研修会に参加し、人権問題について正しい理解と認識を深め、「一人一人の全面的な成長発達を促し、豊かな人間性をもった子どもの育成」を目標に保育を行っている。	着手推進
		49 こども人権(地域ふれあい活動体験)事業 (人権推進課)	大宇陀中学校区 活動回数 13回 参加人数 のべ311人 菟田野中学校区 活動回数 43回 参加人数 のべ444人 榛原中学校区 活動回数 32回 参加人数 のべ300人 室生中学校区 活動回数 38回 参加人数 のべ561人 地域の大人と小中学生だけでなく、障がいをもつ人や高齢者の人たちとの触れ合いを通してより一層人ととの繋がりの大切さを感じられるように活動を進めた。	着手推進
3 子どもの人権の尊重と権利擁護の推進	② 子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進	50 要保護児童対策地域協議会(福祉課)	宇陀市要保護児童対策地域協議会 代表者会議 1回(平成22年6月1日) 実務者会議 3回(平成22年7月6日・11月9日・平成23年3月8日) ケース会議 23回	着手推進
		51 虐待の早期発見と予防、対応 (福祉課、保健センター、学校教育課、保育所(園) 幼稚園、小・中学校)	児童虐待防止に向けた啓発活動の充実として、広報うだ・子育て情報誌「すくすく」への掲載 ・児童虐待の情報を市広報誌に掲載し各家庭へ周知する、また子育て情報誌「すくすく」にも掲載し、乳幼児健診時や子育て支援センター場等で保護者に配布する。 虐待の対応 ・安全確認や保護者への支援など各機関と連携し、役割分担が決まりば支援や援助を行なう。 ・教育センター事業の研修部門での教職員研修を実施。(学校教育課)教育委員会と各学校(園・所)との連携及び会議	着手推進
			・教育センター事業の研修部門での教職員研修を実施。(学校教育課)教育委員会と各学校(園・所)との連携及び会議 ・乳児(新生児)・産婦訪問指導を全出生対象に実施。 ・乳幼児健診未受診者の状況把握の徹底して実施。 ・妊娠届出時より、妊娠・出産・育児に関する相談をし、継続支援を実施。 ・事業を通じ把握された要保護児童・家庭について、関係機関と連携。	着手推進

宇陀市次世代育成支援後期行動計画～平成22年度進捗状況報告

政策目標	推進項目	事業名称	平成22年度の実績・評価	進捗状況
3 の子 擁護 重も の権 と人 の推 進利 権	(2) 子どもを犯罪等の被害から守るために活動の推進	52 個別事例検討会議(ケース会議)(福祉課)	・通告を受けたら直ちに子どもの安全を確認すると同時に、緊急受理会議を開催し、各関係機関が子どもと保護者に対する情報収集や最も効果的な援助を検討をする。 平成22年度ケース会議 23回(平成23年3月31日現在) ・ケース会議以外に4ヶ月に1回定期的な状況報告を行なう実務者会議(進行管理会議)を開催する。	着手推進
4 子育てを支援する生活環境づくり	(1) すべての子育て家庭への支援	53 地域子育て支援拠点事業(学校教育課、保育所(園))	・室生地域を除く市内3地域の保育所(園)の子育て支援センターにおいて、就園前の児童及び保護者を対象に親子教室、子育て等の相談及び情報提供、地域の公共施設などに出向き、遊びや交流の場を提供し、子育て親子との交流を深めた。また、各支援センターにおいても、親子サークル活動の支援等を実施した。	着手推進
		54 子育てサポートクラブ(福祉課)	・安心して子どもを産み育てることができる環境実現と子育て中のお母さん達を応援するサポートクラブの活動 子育てサポート運営会議 リビングルーム(サポートクラブの普及および啓発) 4回 子育てサポート養成講座 7回 ・平成22年度 子育てサポートクラブ個別活動 13回(動員30名) 4/8・14・22・27 7/22・25・28・30 10/21・28 11/14・26 H23/2/10	着手推進
		55 子ども手当(福祉課)	子ども手当の受給者 1,726人(平成23年3月31日現在)	着手推進
		56 子ども医療費助成制度(保険年金課)	助成状況(平成23年3月31日現在) 通院 12770件 14,855,536円 入院 232件 8,756,284円	着手推進
		57 国民健康保険出産育児一時金(保険年金課)	支給状況(平成23年3月31日現在) 37件 15,480千円	着手推進
		58 宇陀市立幼稚園保育料減免(学校教育課)	・宇陀市立幼稚園の園児の保護者に対して、保育料の支払いの経済的負担が大きい階層を対象に、保育料の減免措置を行った。 ・平成22年度は、園児の兄姉が小学1年から3年の場合の減免額を新たに設けた。	着手推進
		59 就学援助(学校教育課)	小学校 140名 8,150千円 中学校 114名 10,206千円	着手推進
		60 宇陀市ぬくもり修学奨励金(学校教育課)	高等学校 14名 840,000円 専門学校 1名 60,000円 大学校 3名 360,000円 計 1,260,000円	着手推進
		61 出産祝い事業(福祉課)	出産祝い品贈呈数 148件(平成23年3月31日現在)	着手推進
		62 保育所(園)の整備(学校教育課)	・平成21年度より、室生区幼保一元化事業により室生保育所の建設に着手してきた。 ・平成23年4月より室生地域では、幼稚園と保育所を一体的に運営する、幼保一元化事業を実施する。また、子育て支援室や一時保育室を設置し、従来の保育に付加価値を付け保育サービスの向上をめざす。	着手推進
5 子育てと仕事との両立の支援	(1) 多様な保育サービスの充実	63 通常保育事業(学校教育課、保育所(園))	・子育てに対する不安を取り除けるよう相談に応じたり、保育所と家庭とが連携しながら保護者が安心して就労ができる、個々のニーズに応える保育サービス等の利用を促進、確保することで、保育が困難な世帯の育児支援を図ることができた。研修を通して保育士の資質向上を図り、保育の中で重要な世代間交流を通して子どもたちの人格形成に役立てたり、園だよりクラスだよりももちろん、行事や日常の遊びの様子を写真に撮り掲示したりして園への理解を図っている。また、保護者との信頼関係によって、日々健康で安全な保育をすることができ、子どもの健やかな成長を促すことが出来た。	着手推進
		64 一時預かり保育事業(学校教育課、保育所(園))	・保護者の勤務形態や疾病、入院、冠婚葬祭、育児疲れなどによって、一時的に家庭における保育が困難になった場合に公立3ヶ所、私立1ヶ所の保育所(園)で実施し、延べ950人超の利用があり、未就園児の育児支援を図ることができた。また、市内保護者の多様な就労形態やニーズに対応し、出来る限り受け入れると共に、安全で安心できる保育環境を整え、保護者の就労や子育てを支援してきた。就労されている方は定期的に利用されているので需要と供給は概ね一致している。入園希望者で入園までの慣らし保育として受け入れることで、就労の支援をすることができた。	着手推進

宇陀市次世代育成支援後期行動計画～平成22年度進捗状況報告

政策目標	推進項目	事業名称	平成22年度の実績・評価	進捗状況
5 子育てと仕事との両立の支援	① 多様な保育サービスの充実	65 延長保育事業 (学校教育課・保育所(園))	・公立は早朝保育(7:30～8:30)と長時間保育(16:30～18:30)を、私立は早朝保育(7:30～8:30)と長時間保育(16:30～19:30)を実施している。保護者の就労時間に応じて個々に対応できた。	着手推進
		66 預かり保育事業 (学校教育課・幼稚園)	保護者が安心してリフレッシュできるよう預かり保育を実施している。 5月～3月まで実施 2月末までの延べ人数 大字陀幼稚園 900人、榛原幼稚園 1506人、榛原東幼稚園 960人 榛原西幼稚園 660人、室生幼稚園 723人 計4749人 年々人数が増加している。 平成21年度末実績は、計4518人(平成22年度は2月時点で超えている)	着手推進
		67 子育て短期支援事業(トワイライトステイ)(福祉課)	平成22年度 該当ケースなし	着手推進
		68 子育て短期支援事業(ショートステイ)(福祉課)	平成22年度 該当ケースなし	着手推進
		69 放課後児童健全育成事業(学童保育) (人権推進課、児童館、学校教育課)	榛原地域において、榛原小学校学童保育室は、定員を超えた小学1年生～3年生までの51名の児童の受入、榛原東小学校学童保育室は小学1年生～5年生までの38名の受入を行った。 年々、入室児童が増加しており、受入が困難な状況になっている。 平成22年度より、長期休暇中の土曜日の開設を開始した。 大字陀・菟田野・室生地域において、保護者の代わりに家庭的機能を補いながら「生活」の場を提供し、「遊び」や「生活」を通して子どもの健全育成を図っていく。 菟田野児童クラブ：年間254日実施 大字陀児童館：年間250日実施 室生北児童館・室生東児童館・室生西児童館：年間250日実施	着手推進
		70 児童扶養手当(福祉課)	児童扶養手当の受給者 母子 217人、父子 18人 (平成23年3月31日現在)	着手推進
		71 母子医療費助成制度 (保険年金課)	助成状況(平成23年3月31日現在) 4973件 12, 563, 382円	着手推進
		72 男女共同参画社会の必要性の啓発 (人権推進課)	広報うだ掲載 2回 集会の開催 1回 ・平成21年度までは講演会を実施。22年度は市民も参加することにより一層男女共同参画を身近に感じてもらうため集会(基調提案・パネルディスカッション)を実施。パネラーからは、それぞれの取組みなどについて聞くことができた。 ・男女共同参画計画の各課の取組み状況の調査を実施。	着手推進
		73 男女共同参画による子育ての促進 (健康増進課・保健センター)	・たまごクラス時、妊婦の配偶者を対象に教室を土曜日に実施。またその際、先輩ママ・パパに来て体験談を話してもらい、配偶者の協力について啓発する。	着手推進
6 地域における子育ての支援	① ネット子育て支援づくり	74 子育てサークル活動育成支援事業 (学校教育課・保育所(園)・ 子育て支援センター)	・現在市内のサークルは6つ ・市内3ヶ所の保育所(園)内の支援センターで、サークル活動の支援を行った。 ・事業内容は、「サークル代表者会議」を開催し、サークル間の交流を深め、情報交換を行った。 ・また、親同士、子ども同士の交流を図りながら、スマーズに自主的なサークル運営を支援し、個別の相談、指導等の支援を行った。	着手推進
		75 子育て情報の提供(福祉課)	平成22年度子育て情報誌「すくすく」を3,000部発行し、各幼稚園・保育所等に配布し、また、子育て支援センター・保健センター・児童館等関係機関にも配布する。	着手推進
	② 子どもの多様な体験活動の充実	76 文化芸術活動体験交流(企画課)	・廃校となった小学校を活用した文化芸術活動体験交流施設として、「ふるさと元気村」があり、芸術家の作品とふれあえたり、世代や地域を越えた交流の場となっている。体験学習として、年間を通じた教室事業やホタル鑑賞など自然の保全や季節の体感ツアーなどを行っている。 教室事業 19教室(月1～2回) イベント事業 年4回	着手推進
		77 こどもフェスタ(生涯学習課)	・宇陀子どもフェスタ2010(平成22年9月12日) 紙ひこうき大会・チャレンジランキング・大声コンテスト・タイムトンネル・コンサート・人形劇他 約1, 500人参加	着手推進

宇陀市次世代育成支援後期行動計画～平成22年度進捗状況報告

政策目標	推進項目	事業名称		平成22年度の実績・評価	進捗状況
6 地域における子育ての支援	(2) 子どもの多様な体験活動の機会の充実	78	市スポーツ少年団(生涯学習課)	・6単位団の加入	着手推進
		79	ジュニアリーダー養成(生涯学習課)	実績なし	未着手
		80	子ども会連合会(生涯学習課)	・子どもフェスタ参画(平成22年9月13日) ・手作り体験学習会(平成22年10月4日)	着手推進
	(3) 子どもの居場所づくり	81	児童館活動(人権推進課・児童館)	・小中学生を対象とし、遊びや学習をとおして仲間意識の高揚と人権課題に対する取り組みを行う。 ・小学生は毎日、自由来館で、子どもの居場所を提供 ・中学生は毎週水曜日に、人権に関する学習や年1回の演劇活動の取り組みを行う。 ・地域組織活動:年6回…学童保育を守る保護者会、会議及び行事。	着手推進
		82	地域放課後子ども教室推進事業 (人権推進課・生涯学習課)	・小学生を対象とし、遊びや学習を通して児童の健全育成を図って行く。 ・毎日、自由来館で、子どもの居場所を提供。 ・様々な行事を行い、「遊び」や「仲間作り」の充実を目指す。 ・放課後の時間帯において、保護者の代わりに家庭的機能を補いながら「生活」の場を提供し「遊び」や「生活」を通してその子どもの健全育成を図っていく。 荒田野児童クラブ:年間254日実施 ・7小学校区5教室実施 活動場所 児童館・公民館・図書館・大和富士ホール等 活動状況 各教室とも年間40回開催 参加状況 延べ2,920人 活動内容 学習指導・集団遊び・工作・和太鼓・パン作り・お話し会・交流会・料理教室等	着手推進